

● 使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ	15kg/缶
プライマースーパーE	
グラナダF	20kg/缶
専用骨材1厘	20kg/紙袋

使用器具

計量	秤
下塗り	エアレススプレー等
基層塗り	リシガン又はコテ
模様塗り	スタッコガン又はコテ
模様付け	ウールローラー(中毛)

● 標準施工仕様

(23℃、50%RH)

工程	使用材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/㎡)	塗り 回数	工程間隔時間(hr)		備考
					工程内	工程間	
下塗り	キクスイ プライマースーパーE	15kg 無希釈	0.1～0.19	1		3以上	エアレススプレー等
基層塗り	グラナダF	20kg	0.8～1.0	1	－	6以上	リシガン 口径：4～6mm 吹圧：0.5～0.6MPa
	清水	1～2kg					
模様塗り	グラナダF	20kg	3.0～3.5	1	－		スタッコガン 口径：8～10mm 吹圧：0.5～0.6MPa
	専用骨材1厘	10kg					
	清水	0.4～0.6kg					
パターン 付け	材料を大玉模様吹き放し後、乾いたウールローラーで押えてパターン付けする。					追っかけ 模様付け	ウールローラー(中毛)
養生撤去	養生シートなどの撤去を行う。				－	直後又は 乾燥後	
最終養生	施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。				－	24以上	

● 標準施工要領

1. 下塗り

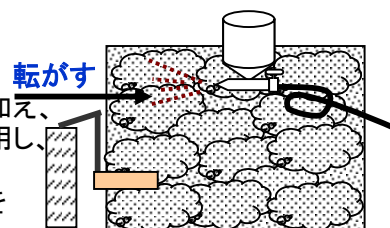
- ①下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ②下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ①開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ②主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③基層塗りは、下地がスケないようにリシガンで吹き付ける。

3. 模様塗り

- ①主材は、定められた仕上りになるように指定された骨材・清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ②模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を大玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



4. パターン付け

- ①パターン付けは、模様塗り後、追っかけで乾いたウールローラーで行う。
- ②時々清浄なウールローラーに交換し、引きムラをつくらないように作業する。
- ③パターンは、壁全体のバランスも考慮してウールローラーで整える。

5. 養生撤去他

- ①養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ②外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。